



谷 美枝子 議員
(公明党議員会)



屋外プールの屋内化による施設の有効活用と持続可能な運営について

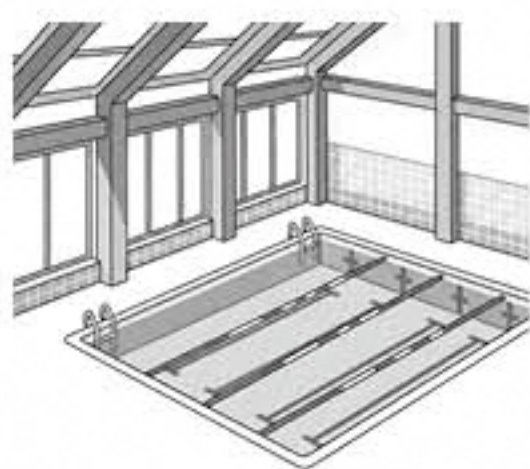
Q 佐野市運動公園プールについて、今後屋内型プールとして更新する考えがあるか、伺いたい。

A 産業文化スポーツ部長

プールの耐用年数については、一般的には30年程度とされていますが、佐野市運動公園のプールは既に40年を超過している状況です。そのため、毎年プール本体、プールサイド、機械設備などに損傷が発生し、改修費用も年々増加する傾向です。また、今年度の営業開始直前には、落雷による機器の故障が発生し、開業が危ぶまれる事態もありました。このようなことから、今年度、群馬県藤岡市の屋内プール「みずとぴあ藤岡」及び宇都宮市の屋内プール「ドリームプールかわち」を見学し、今後のプールの在り方について、調査を始めたところです。

その他の質問

☆令和7年度佐野市行政経営方針について



早川 貴光 議員
(未来の佐野を明るくする会)



保育園の入園及びその業務について

Q 本市におけるマイナポータルの子育てワンストップサービスによる教育・保育給付認定申請及び保育園等利用申込みのオンライン申請数を伺いたい。

A こども福祉部長

国において平成29年度から運用が開始され、それと同時に本市も運用を開始しました。これまでの本市のオンライン申請数はゼロ件です。利便性に問題があり、サービスを利用するためには、まずマイナンバーカードが必要で、パソコンを利用して申請をする場合は、マイナンバーカードを読み取るためのカードリーダーが必要となり、スマートフォンを利用した申請には、スマートフォンの小さな画面を見ながら入力することや、入力に約1時間程度かかるなどの理由により、利用する方がいなかったものと推測しています。

その他の質問

☆佐野市の広報について



滝田 洋子 議員
(日本共産党議員団)



加齢性難聴者への補聴器購入補助制度について

Q 難聴になると、認知症のリスクが高くなる。家族や仲間との会話を楽しみ、毎日を楽しむ生き生きと過ごすためには、しっかりと聞こえることがとても大切である。補聴器によりめまいや耳鳴りの症状が軽減された方もいた。難聴者は、認知症のリスクの確率が約2倍高いと言われる一方で、補聴器購入費が高額化している。補聴器購入への補助の考えはあるか伺いたい。

A 市長

軽度・中等度の難聴である高齢者への市独自の補聴器購入費用の助成は行っていませんでした。高齢者福祉施策全体を考慮し、市が実施する意義や効果を十分検証する必要があると認識をしていますので、今後も検証を行っていきたいと考えています。

その他の質問

☆教職員の働き方について
☆不登校対応に関する教員
全国調査2025について

